

### 3 大気粉じん等環境調査

#### (1) 目的

県内における大気浮遊粉じん中の重金属等の濃度を調査し、これらの物質による汚染の実態を把握するとともに、人体への影響を未然に防止するための基礎資料を得る。

#### (2) 調査方法

##### ア 調査地点、調査項目及び調査回数

表4-3-1に示す5地点で調査を実施した。

表4-3-1 調査地点、調査項目及び調査回数

調査地点	所在地	調査項目		調査回数
		重金属等(注)	アスベスト	
武豊町役場	武豊町字長尾山 19			年4回
碧南市川口町	碧南市川口町 1-169			
一色町役場	一色町大字前野字新田 34			
豊橋市 神田 ふれあいセンター	設楽町大字神田			年2回
安城農林高校	安城市池浦町茶筌木 1			

(注)「重金属等」とは、「浮遊粉じん、総水銀、ベンゾ[a]ピレン、ひ素、セレン、カドミウム、鉛、亜鉛、クロム、バナジウム、ほう素」の11項目

##### イ 調査期間

各項目の調査期間は、表4-3-2のとおりである。

表4-3-2 調査期間

調査項目	調査時期	調査期間
重金属等	春季	平成13年5月22日～5月23日
	夏季	平成13年8月9日～8月10日 (武豊町役場、碧南市川口町、一色町役場)
		平成13年7月16日～7月17日 (神田ふれあいセンター)
	秋季	平成13年11月5日～11月6日
冬季	平成14年2月6日～2月7日 (武豊町役場、碧南市川口町、一色町役場)	
	平成13年11月15日～11月16日 (神田ふれあいセンター)	
アスベスト	夏季	平成13年8月9日
	冬季	平成14年1月10日

### ウ 試料採取方法及び分析方法

試料採取方法及び分析方法は、環境庁の「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」（平成9年2月、同8月、10年3月、11年3月）に準拠し、表4-3-3のとおりとした。

表4-3-3 試料採取方法及び分析方法

調査項目	試料採取方法及び分析方法
浮遊粉じん	フィルタ捕集 重量法
総水銀	金アマルガム捕集 加熱気化 冷原子吸光法
ベンゾ[a]ピレン	フィルタ捕集 蛍光分光 高速液体クロマトグラフ法
ひ素	フィルタ捕集 酸分解(注1) 水素化還元無炎原子吸光法
セレン	フィルタ捕集 酸分解(注2) 水素化還元無炎原子吸光法
カドミウム、鉛及び亜鉛	フィルタ捕集 酸分解(注2) 原子吸光法
クロム、バナジウム及びほう素	フィルタ捕集 酸分解(注2) 誘導結合プラズマ発光分析法
アスベスト	フィルタ捕集 位相差顕微鏡法

(注1) 硝酸-過酸化水素による加圧分解（平成9年度以前は硝酸-過酸化水素による抽出）

(注2) フッ化水素酸-硝酸-過酸化水素による加圧分解（平成9年度以前は硝酸-過酸化水素による抽出）

### (3) 調査結果

平成13年度の重金属等の調査結果を表4-3-4に、継続調査地点（武豊町役場、碧南市川口町及び一色町役場）3地点平均値の経年変化を図4-3-1に示す。

総水銀については、全地点でWHO欧州地域事務局のガイドライン値である1 µg/m<sup>3</sup>より遥かに低い濃度であり、最大でもガイドライン値の約300分の1であった。

総水銀、ベンゾ[a]ピレン、ひ素及びクロムの濃度を、平成13年度に全国の地方公共団体等が実施した調査結果（表4-2-6）の濃度範囲と比較すると、概ね同程度であった。

また、平成13年度のアスベスト調査結果を表4-3-5に示す。

アスベストについては、WHOの「アスベストに起因するリスクは検出できないほど低い」としている濃度範囲（10 f/l以下）を超えた検体はなかった。

表 4 - 3 - 4 重金属等調査結果

調査地点	浮遊粉じん(μg/m <sup>3</sup> )					総水銀(ng/m <sup>3</sup> )				
	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
武豊町役場	61	26	80	64	73	2.8	1.9	3.4	3.2	2.5
碧南市川口町	68	31	84	69	86	2.6	1.8	3.1	2.8	2.6
一色町役場	71	26	86	70	100	2.5	1.9	2.8	2.8	2.6
神田ふれあいセンター	14	-	13	-	15	2.0	-	1.7	-	2.3

調査地点	ベンゾ[a]ピレン(ng/m <sup>3</sup> )					ひ素(ng/m <sup>3</sup> )				
	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
武豊町役場	2.7	0.36	1.7	6.3	2.5	2.5	1.3	2.5	2.9	3.4
碧南市川口町	1.7	0.30	1.6	2.9	1.8	2.6	1.1	2.5	3.3	3.7
一色町役場	1.5	0.37	1.4	2.5	1.7	2.4	0.88	1.8	3.3	3.6
神田ふれあいセンター	0.17	-	0.03	-	0.26	0.41	-	0.10	-	0.71

調査地点	セレン(ng/m <sup>3</sup> )					カドミウム(ng/m <sup>3</sup> )				
	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
武豊町役場	1.4	1.1	1.5	1.8	1.4	1.1	0.32	1.3	1.7	1.3
碧南市川口町	1.5	0.75	1.7	1.9	1.6	1.3	0.48	1.5	2.0	1.4
一色町役場	1.4	0.93	2.3	1.2	1.2	1.3	0.52	1.3	2.0	1.6
神田ふれあいセンター	0.12	-	0.09	-	0.14	0.26	-	<0.15	-	0.45

調査地点	鉛(ng/m <sup>3</sup> )					亜鉛(ng/m <sup>3</sup> )				
	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
武豊町役場	88	21	80	130	120	260	59	230	310	440
碧南市川口町	200	38	170	280	320	290	85	340	300	450
一色町役場	110	52	88	150	160	280	110	310	310	380
神田ふれあいセンター	4.8	-	<1.6	-	8.7	24	-	11	-	36

調査地点	クロム(ng/m <sup>3</sup> )					バナジウム(ng/m <sup>3</sup> )				
	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
武豊町役場	23	4.2	24	41	24	9.3	3.7	15	8.5	10
碧南市川口町	110	6.0	33	350	56	9.2	3.1	15	8.6	10
一色町役場	25	4.3	12	55	29	7.2	2.3	10	7.1	9.4
神田ふれあいセンター	1.3	-	<1.5	-	1.9	1.0	-	0.32	-	1.7

調査地点	ほう素(ng/m <sup>3</sup> )				
	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
武豊町役場	6.6	<1.3	4.1	2.8	19
碧南市川口町	13	2.7	5.4	7.0	35
一色町役場	8.7	<1.3	3.0	5.0	26
神田ふれあいセンター	1.8	-	<1.3	-	3.0

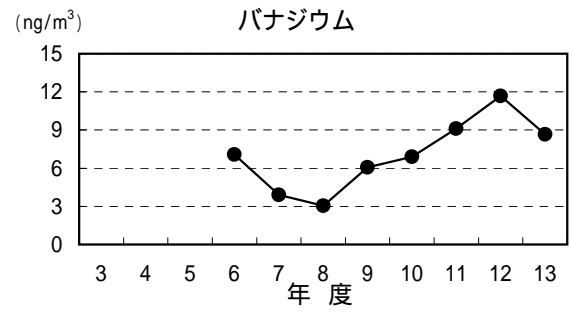
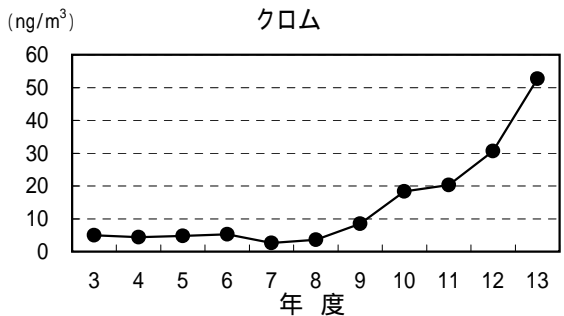
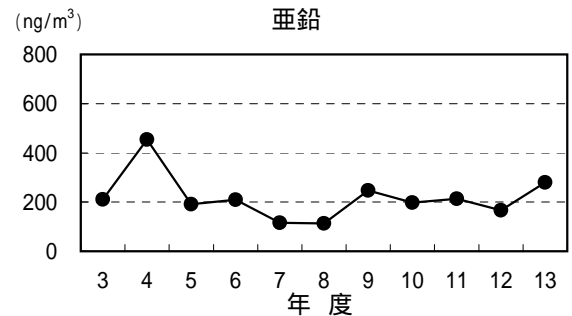
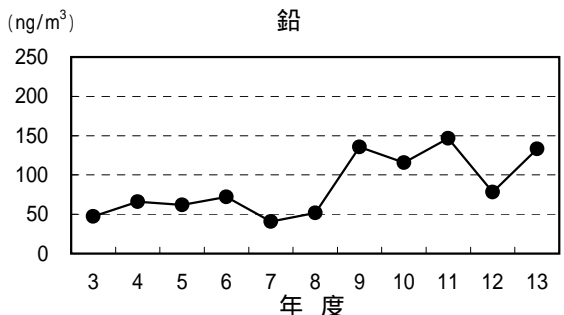
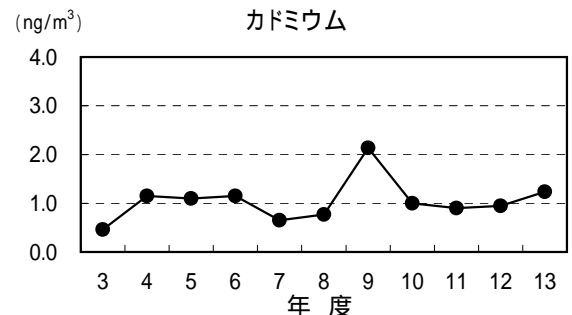
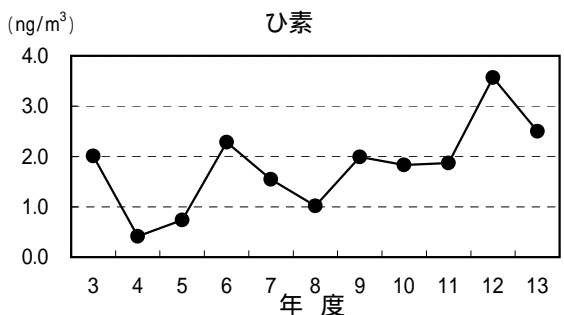
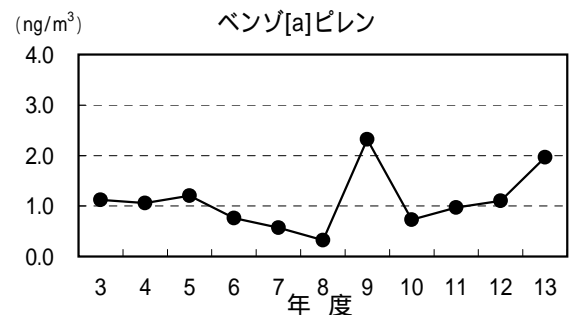
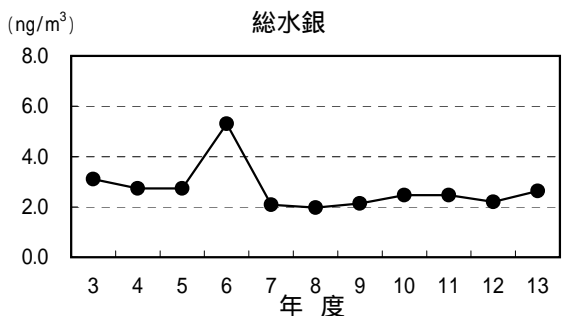
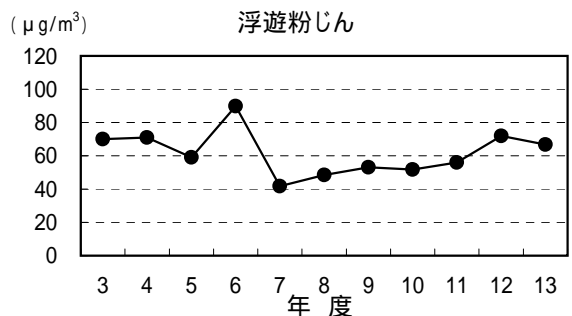


図4 - 3 - 1 継続調査地点の平均値の経年変化

表 4 - 3 - 5 アスベスト調査結果

調査地点	季節	調査年月日	アスベスト濃度(f/l)	
			愛知県調査	環境庁調査(注)
安城農林高校	夏季	H13.8.9	0.37	バックグラウンド (住宅地域、商工業地域、 農業地域)
	冬季	H14.1.10	0.33	
	幾何平均値		0.35	N.D. ~ 1.76

(注) 「平成7年度末規制大気汚染物質モニタリング調査結果」(平成9年1月 環境庁)